

教科名	社 会 (地理的分野) (歴史的分野)	週時間数	3	学 年	2
使用教科書 及び 副教材 等	・ 中学校社会地理的分野（帝国書院）・中学校社会科地図（帝国書院） ・ 地理資料・日本 2024（新学社）・社会の自主学習地理2（新学社） ・ 中学校社会歴史的分野（日本文教出版）・つながる歴史（浜島書店） ・ 社会の自主学習歴史2・3（新学社）				
指導の重点	「思考力」「学ぶ意欲」「知識・技能」				
教科のねらい	社会科では、多面的・多角的な見方や考え方ができる学習の場として、生徒の、「思考力」と「学ぶ意欲」を育むことを目指して学習をしていきます。また、基礎的な知識を身につけるとともに、他国の文化や伝統を尊重できる国際人としての自覚を身につけることも目指していきます。				
授業の進め方	授業は教科書とワークを中心に進めていきます。学習する内容によっては、班別で学習することもあります。また、調べ学習として図書室や家庭での学習を求めることもあります。				
定期考査	授業で学習したことを中心に問題を出題しますが、観点別に問題を出題します。教科書の内容を覚えるだけではなく、資料を読み取る力、思考力、表現力も必要となります。				
学習方法	社会は覚えることが多くて苦手という人もいますが、誰でも一度に多くのことを覚えるのは難しいことです。何度も繰り返し学習することが大切になります。それと、「なぜそうなるのか」という疑問をもって学習することも大切にして下さい。問題集やワークを繰り返して学習することにより、基本的な知識を身につけることも大切です。				

	観 点	評価規準	評価方法
評	①知識・技能	・ 日本の位置地域構成、世界の諸地域と日本の特色、課題などを理解し、その知識を身につけ、統計や地図資料、写真などを的確に読み取ったり、効果的に活用することができる。 ・ 歴史上の人物、出来事、文化遺産などを通して、各時代の特色を理解するとともに、歴史の流れを意識して、その知識を身につけ、様々な資料を集め、情報を読み取り、図や表などにまとめることができる。	定期テスト （知識・技能分野） 小テスト （知識分野） ノート・ワーク （完成度）
	②思考・判断・表現	・ 世界や日本に関する地理的事象から課題を見だし、諸地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。 ・ 歴史上の人物、出来事、文化遺産などを通して、各時代の特色や歴史の全体像について考え、それを適切に表現している。	定期テスト （思考・判断分野） 授業観察 （発言内容） 振り返りシート （内容・考察）
価	③主体的に学習に取り組む態度	・ 世界や日本に関する地理的事象に対する関心を持ち、それらの事象を主体的に追求し、日本や諸地域の地理的認識を得ようとしている。 ・ 歴史上の人物、出来事、文化遺産などを通して、各時代の特色に関心を持ち、歴史を意欲的に学ぼうとしている。	授業観察 （忘れ物、挙手） 宿題・提出物 （達成率） パフォーマンス （調べ学習）

年間授業計画		
学期	分野	単元
1	地理的分野	第2部 日本のさまざまな地域 第2章 世界と比べた日本の地域的特色 3節 資源や産業の特色 3 日本の農業・林業・漁業とその変化 4 日本の工業とその変化 5 日本の商業・サービス業 4節 地域間の結びつきの特色 1 世界と日本の交通・通信網 第2部 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域 1 九州地方 2 中国・四国地方 3 近畿地方 4 中部地方
2	地理的分野 歴史的分野	5 関東地方 6 東北地方 7 北海道地方 第4章 身近な地域の調査 第4編 近世の日本 2 江戸幕府の成立と東アジア 3 産業の発達と元禄文化
3	歴史的分野	第4編 近世の日本 4 幕府政治の改革と農村の変化 第5編 近代の日本と世界【第1章 日本の近代化】 1 欧米の発展とアジアの植民地化 2 近世から近代へ 3 近代国家へのあゆみ 4 立憲制国家の成立 5 日清・日露の戦争と東アジアの動き 6 近代日本の社会と文化